

# 木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター  
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(22年10月分)

1. 調査実施期間 平成22年 9月20日 ~10月10日

### 2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

10月分の回答企業数は42社、回収率は93.3%である。

### 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

### 4. 調査結果の概要

#### (1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

|      |     | 22/10月 | 11月    | 12月    |
|------|-----|--------|--------|--------|
| 仕入動向 | 国産材 | 1.5    | 0.0    | △ 7.6  |
|      | 外材  | 0.0    | △ 6.4  | △ 9.0  |
| 販売動向 | 国産材 | △ 3.0  | △ 1.5  | △ 12.1 |
|      | 外材  | △ 1.3  | △ 3.8  | △ 11.5 |
| 在庫動向 | 国産材 | △ 9.1  | △ 7.8  | △ 7.8  |
|      | 外材  | △ 9.0  | △ 14.5 | △ 7.9  |

仕入は、国産材、外材とも小さなプラス、ゼロ、小さなマイナスと堅調だが、先行きやや弱含み。販売は、国産材、外材とも小さなマイナスで当面横ばいだが、年末に向けて鈍化窺える。在庫は、国産材、外材ともにマイナス幅で横ばい変わらず。

#### (2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

| 品目             | 22/10月 | 11月   | 12月   |
|----------------|--------|-------|-------|
| スギ正角(グリーン)     | 2.2    | 2.2   | 0.0   |
| スギ正角(KD)       | 6.0    | 8.0   | 4.2   |
| ヒノキ正角          | 2.0    | 0.0   | 0.0   |
| ヒノキ土台角         | 0.0    | 0.0   | 2.2   |
| 米ツガ正角(現地挽)     | △ 4.2  | 0.0   | 0.0   |
| 米ツガ防腐土台角       | 0.0    | 2.1   | 0.0   |
| 米ツガ割物(現地挽)     | △ 2.1  | 0.0   | 0.0   |
| 米マツ平角          | △ 2.1  | 0.0   | 0.0   |
| 北洋アカマツタルキ(現地挽) | 2.0    | 0.0   | 0.0   |
| ホワイトウッド集成管柱    | △ 17.3 | △ 7.7 | △ 2.0 |
| レッドウッド集成平角     | 5.3    | 0.0   | 0.0   |
| 型枠合板(国産)       | △ 2.2  | 2.2   | 6.8   |
| 型枠合板(輸入)       | △ 4.5  | △ 4.5 | △ 2.4 |
| 針葉樹合板          | △ 5.0  | △ 5.0 | △ 2.6 |

スギ正角(グリーン、KD)は、プラス基調で強含み。またヒノキ正角、土台とも、先行きゼロ基調で価格落ち着いている。米ツガ正角(現地挽)、割物、防腐土台もほぼゼロで安定変わらず。米マツ平角、北洋アカマツタルキもゼロと同様である。WW管柱はマイナス幅縮め回復著しい。RW平角はプラス幅縮めゼロと一段落の様子。合板は型枠合板(国産)が先行きプラス基調で強含み。また型枠合板(輸入)、針葉樹合板はマイナス基調で、低調感ある。

|                     |  |
|---------------------|--|
| 1. 荷動き              |  |
| 仕入<br>動向            | 米マツ一般材丸太は、産地の出材量落ちているものの、依然として米国向け消費が減少しているため、価格は横ばい。シッパは日本向け輸出価の価格維持を訴えている。(東京:米材問屋)<br>年内はビルダー系に納めているプレカットが忙しいため荷動きは変わらないと思う。(東京:米材問屋)<br>外材は円高のために価格は上昇しないが、仕入れ販売とも順調。(東京:米材問屋)<br>産地側からの定期的オファーはない。入荷は減り気味である。(東京:米材問屋)<br>WW間柱B材とスギKD柱が品不足、仕入れが難しい。(東京:外材集成材問屋)<br>産地の天候不順から依然原木不足で生産量は少ない。上向く気配のない日本向けには消極的。(東京:南洋・中国材問屋)<br>ラワン類は原木不足が解消されず、製品入荷少ない。(東京:南洋材問屋) サバの丸太不足深刻。(東京:南洋材問屋)<br>北海道内製材工場のタモ、ナラの原木不足がかなり深刻になってきた。乾燥材の流通在庫が減少してきている。(東京:広葉樹材問屋)<br>構造材、羽柄材とも引き合い強く、仕入れタイト。(東京:国産材問屋)<br>全国的にプレカット工場の仕事量は大変多くなってきている様だが、問屋小売の荷動きはあまり良くない。価格変化無し。(東海:外材問屋)<br>売りが低調なため仕入れも余り良くない。(東京:仲買小売) 回転が遅く、仕入れも減少。(東京:仲買小売)<br>やや仕事が増したため、仕入れ・販売ともやや増加。(大阪:仲買小売)   |
|                     | 販売<br>動向   |
| 販<br>売<br>動<br>向    | ベイマツ丸太京浜マーケットでは、構造用製材品の荷動きは依然低調なものの、カスケード系では引合いが増えており、問屋もカスケード丸太中心の配船に動いている。(東京:米材問屋)<br>徹底的な当用買いで秋需は不発? (東京:米材問屋) 大きな見積りは不可。(東京:南洋材問屋)<br>細かい仕事、短い納期と難しい注文をつける割に価格は出ない。(東京:南洋・中国材問屋)<br>徐々に注文材の動きが回復してきている。品不足で在庫を積み増しするのが目立つ。(東京:南洋材問屋)<br>9月は予想より荷動き良かった。10月は例年良いので期待。11月からは少しずつ落ちると思われる。(東京:外材集成材問屋)<br>学校関係の仕事が出始めた。(東京:国産材問屋) ヒノキの割物が動く。(東京:国産材問屋)<br>秋需本番であるのに商いが細かく、見通し不透明のため在庫意欲無し。今年はこのまま行きそうである。(東京:国産材問屋)<br>不足感が出てきているものの需要が鈍く価格・量ともイマイチ。(東京:国産材問屋)<br>9月は期待外れの動きに終始した。秋需に期待していたがやや不安。(東京:国産材問屋)<br>全然荷物動かず。売上も減少の一途である。(東海:外材問屋) 先行き不振。特に構造材が動かない。(東京:仲買小売)<br>廃業を予定している。今後は木材販売部、不動産、建築のみ営業。(東京:仲買小売)<br>忙しい所と閑な所の差が激しくなっている。9月に続き10月も苦戦。(東京:仲買小売)<br>一般住宅物件の荷動きが細かくなってはいるが現場数はそこそこある。リフォーム物件は少し減少。ゼネコンに結びついて<br>いる工務店への売上が少し増えている。(東京:仲買小売)<br>同業者は一樣に過去に例を見ないほど売上悪化の声。上向く気配もなくその要因も見当たらない。(東京:仲買小売)<br>大阪市内の材木屋さん、まったく閑です。このまま年末を迎えるのではないのでしょうか。(大阪:仲買小売) |
|                     | 在<br>庫<br>動<br>向   |
| 在<br>庫<br>動<br>向    | 京浜マーケットではベイマツ丸太の入出荷のバランスが取れていることから、不良在庫は見当たらない。(東京:米材問屋)<br>決して在庫が多い訳ではないが、取引が細かく目立つ増減はない。(東京:米材問屋)<br>新材の在庫増す予定。ヒノキ割物少ない。(東京:国産材問屋) 在庫多く売上減、1年前とは全く逆転。(東京:南洋材問屋)<br>当面入荷が少なく在庫は減少し続けると思われる。(東京:南洋材問屋) 在庫減少傾向だが増やしてはいない。(東京:国産材問屋)<br>10月をピークに少しずつ在庫量を抑えて行きたい。(東京:外材集成材問屋)<br>産地の生産量減少から入荷量も少なく在庫は減少。(東京:南洋・中国材問屋)<br>先行き不足感から多少の積増しながら、先々の不透明感から今一歩踏み出せず。(東京:国産材問屋)<br>数量的に目立った仕入れ在庫はしていない。(東京:仲買小売)<br>在庫は何時も一定の量は置く様に心がけている。(東京:仲買小売)   |
| 2. 価格動向             |  |
| スギ正角                | KD柱・間柱に不足感あり。需要鈍く様子見。(東京:問屋) 材が不足気味で入荷少ない。(東京:問屋)<br>スギ丸太は全国的に高く、需要不振の製品との綱引き状態。(東京:問屋)<br>原木は高くなっていると聞くが、製品はあまり上がっていない。(東海:問屋)<br>問屋筋ではKD 3m 105角が強気になっている。(東京:仲買)  |
| ヒノキ正角<br>土台角<br>米ツガ |  |
| 米マツ平角               | 荷動きはまずまず、価格は横ばい。(東海:問屋)<br>少々秋需があるようだが価格は影響なし。(東京:問屋)  |
| 北洋アカマツ<br>タルキ       | アカマツ製品が少ないと聞くが価格横ばい。(東海:問屋)<br>価格は変わらないが、質の低下が見られる。(東京:仲買)   |
| WW・RW<br>集成材        | 一服感あり。若干下げ傾向。(東京:問屋) 集成平角はいまだに材不足。(東京:問屋)<br>WW管柱は下げ、RW中断面も上げられず。(東京:問屋)<br>120角のラミナがやや少ないらしい。105角は価格・荷動き横ばい。価格上昇一段落。荷動きはよい。(東海:問屋)<br>高値で停滞。(東京:仲買) 品薄のためやや上昇。(大阪:仲買)   |
| 合板                  | 荷動きは良く価格も落ち着いている。(東海:問屋) 針葉樹は弱含みの感じ。(東京:仲買)<br>輸入合板は原材料不足で高止まりの様子。針葉樹はメーカーはまだ上げたいようだが、需要不足でやや下がるかも。(東京:仲買)   |